

スリープテックブーム

WGSNは2016年にスリープテックがブームになる兆しを捉え、その発生段階における製品展開のチャンスに注目した。数年後、スリープテックのブランド戦略、マーケティング、製品ローンチが脚光を浴び、メインストリーム市場に到達し、2021年以降も普及が進む。



2016

デザインフェューチャー:スマートスリープレポートでは、当時米国で1億ドルの規模を示していたスリープテック市場に一早く参入した企業を紹介。また、スリープオーディオなどの製品展開の機会を取り上げた。

2019

睡眠ビジネス:シフトと戦略レポートでは、スリープテックのメインストリーム化と、ブランドアクティベーションへの影響を分析。睡眠ビジネスは400億ドル規模に拡大し、前年比8%のペースで成長。

世界最大規模のテクノロジー見本市CESでスリープテックが脚光を浴びた。CES 2020:ホーム&ライフスタイルトレンドレポートでは、メインストリームを席巻するトレンドと見逃せない最新テクノロジー製品をお届けした。

2020

スリープテックが広く行き渡り、同市場は前進を続ける。Apple Watchはネイティブでの睡眠トラッキング機能をOS7に搭載した。GoogleのNest Hubには、レーダーを使用した睡眠モニター機能が加わった。BoseはSleepbudsを発売。

2021

睡眠の邪魔にならない最新スリープテックが登場。体に装着する必要がなく、離れた場所から睡眠状態を計測する。ホワイトノイズ、ベッドタイムストーリー、穏やかな照明やフレグランスなど、快眠をサポートする機能も増えている。

**このトレンド
の次なる動きは？**